

千賀健史個展「まず、自分でやってみる。」

会期:2024年3月6日(水)~4月14日(日) 11:00-19:00 火曜休館

2019年から取り組んで来たテーマに新たな視点を加えた新作を発表。特殊詐欺を複眼的に掘り下げ、根底にある社会構造に焦点を当てる。

株式会社リクルートホールディングスが運営するBUGでは、2023年3月6日(水)より、千賀健史個展「まず、自分でやってみる。」を開催します。本企画はBUGの活動方針の一つである“キャリアの支援*”に基づき、更なる飛躍を目指すアーティストに対し、その足がかりとなることを目的とした展覧会です。

千賀は2017年の第16回写真「1_WALL」**に、インドのカースト制度、貧困、学歴社会をテーマにした作品“Bird, Night, and then”で応募し、グランプリを受賞しました。「1_WALL」では、社会で起こる事象を構造的に捉えた視点や、フィクションとノンフィクションを交錯させる編集力、写真媒体の活用の巧みさなどが評価されました。2018年には自身初の個展「第16回写真「1_WALL」グランプリ個展“Suppressed Voice”」をガーディアン・ガーデンにて開催しています。国外での評価としては、中国の「第8回大理国際写真展」にて最優秀新人写真家賞を受賞(2019)、フランスのアルル国際写真祭「The Luma Rencontres Dummy Book Award Arles」ショートリスト入り(2019,2022)、イギリスでは『British Journal of Photography』が選ぶ今年注目の写真家にも選出される(2021)など、世界各国で作品を発表し評価を得ています。

これまで、貧困や自殺の連鎖、スティグマ(特定の属性や事象への差別・偏見)といった千賀自身の身近に存在する社会問題を起点に、その問題を引き起こす社会的な構造や関係者それぞれの視点を顕にする作品を発表してきました。その問題や関係者に対する千賀の視点は俯瞰的であり、また数年にわたる入念なりサーチによって中立性を担保しようという姿勢が見受けられます。そして、その根底には、二元論による対立構造を回避しようとする意識や、鑑賞者が社会問題に対して当事者意識を持つことへの期待があり、作品は鑑賞者が社会や他者への想像力を働かせる端緒となってきました。

千賀は写真家としてキャリアをスタートしましたが、作品は写真だけでなく、映像や書籍、装置、それらを含むインスタレーション等、その時々々のテーマに対して最適な表現手法を選択しています。また、事実をただ写すことだけが問題に迫る方法ではないという考えのもと、作品はリサーチがベースでありながらも、常にフィクションが交えられています。

本展では、2019年から約3年間にわたり千賀がリサーチしてきた特殊詐欺を起点に、それを取り巻く社会構造や個人々々をテーマとした新作を展示します。特殊詐欺による被害額が最大となった2014年から、千賀が初めてこのテーマで作品を発表した2021年まで、被害は減少傾向にありましたが、コロナ禍を経て2022年には8年ぶりに増加しました。その背景には社会や時代の変遷から影響を受けた個々の生活の変化があったはずであり、本展ではそこに焦点を当てた作品を発表します。

ビジネスパーソンや学生、観光客などの風貌をした様々な人が行き交う東京駅。そこからほど近いBUGで、一つの犯罪を取り巻く犯罪者、被害者、関係者の多面的な視点が顕になります。もしかしたら、あなたや行き交う人々にとっては、犯罪者、被害者どちらの立場も一見ゆかりのないものに感じられるかもしれませんが、しかし、それでも本展を見た後は、社会で生きる私たちの複雑なつながり、またお互いの影響について想いを馳せずにはいられなくなるでしょう。



*BUGの活動方針の一つとして、アーティスト/アートワーカーのキャリア支援を掲げています。BUG Art Awardの開催、展覧会の開催、ワークショップやイベントの開催を通じて、この実現を目指しています。詳細はウェブサイトのABOUTページをご覧ください。(https://bug.art/about/)

**2009~2022年にリクルートホールディングスが運営したコンペティション。グラフィック部門と写真部門があり、各25回開催。BUG Art Awardの前身として、新しい才能を発掘し、世に送り出す役割を果たしました。

作家紹介



千賀健史(ちが・けんじ) / Kenji CHIGA

1982年滋賀生まれ。2008年大阪大学基礎工学部卒業。第16回写真「1_WALL」グランプリ、第44回キヤノン写真新世紀優秀賞、第8回大理国際写真展最優秀新人写真家賞を受賞。また、アルル国際写真祭The Luma Rencontres Dummy Book Award Arles2019, 2022ショートリスト入り。

主な展覧会に、第16回写真「1_WALL」グランプリ個展“Suppressed Voice”(ガーディアン・ガーデン、2018)、「写真新世紀展2021」(東京都写真美術館、2021)、千賀健史個展“Hijack Geni”(Reminders Photography Stronghold、2022)、プリピクテジャパンアワード「Fire&Water」(東京都写真美術館、2022)がある。

■関連イベント

会期中にイベントを実施します。詳細は決まり次第ウェブサイト、SNSにてお知らせします。

<https://bug.art>

[X(Twitter) / Instagram] @bugart_tokyo

[facebook] bugart.tokyo



■BUG Cafe コラボメニュー

BUGスペース内に併設のカフェ、BUG Cafeにて、展覧会コラボメニューも販売!

最新情報はBUGのウェブサイトとBUG CafeのInstagramにてお知らせします。

[Instagram]@bug__cafe

■展覧会概要

タイトル: 千賀健史個展「まず、自分でやってみる。」

会期: 2024年3月6日(水)～4月14日(日)

11:00～19:00 火曜休館 入場無料

主催: BUG

BUG

〒100-6601 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー1F

交通アクセス

JR東京駅八重洲南口から徒歩3分

東京メトロ京橋駅8番出口から徒歩5分

東京メトロ銀座一丁目駅1番出口から徒歩7分

BUGには専用駐車場はありません。ご来館時には公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先: 株式会社リクルートホールディングス リクルートアートセンター 広報担当 桑間

Mail: ch_kuwama@r.recruit.co.jp Tel: 080-4172-6237